

協立グループだより

KYORITSU GROUP

暑中お見舞い申し上げます



親水護岸（水俣市）

院長・所長挨拶	2
水俣協立グループリニューアル進捗のご報告	3
副院長就任・医療構想について	4
赴任のご挨拶	4
もしかして、発達障害？	6

「みなまた健康友の会総会」を開催しました	7
「在宅訪問管理栄養士」が誕生しました！	7
ようしくお願いします	7
協立グループからのお知らせ	8

水俣協立病院 院長

重岡 伸一



この春から協立病院の新築工事が始まり、建設が進んでいます。来年の4月には新病院での診療が始まる予定です。

6月に、長嶋茂雄さんが89歳でお亡くなりになりました。85歳以上になると介護を要する場合が6割近くになるといわれています。私たちは、この地域の医療・介護のニーズに応え、病気の治療に努めるだけでなく、病気をかかえながらもその生活を支え、人生に寄り添う病院になることを目指しています。その取り組みの一つとして、水俣・芦北地域で唯一の「在宅療養支援病院」*として、住み慣れた自宅に住み続ける在宅医療をさらに発展させていきたいと思っています。また若い世代、働いている世代の方々も、生きづらさを感じる社会の中で心身の不調をきたすことがあります。その際は協立クリニックと連携して協立病院で入院治療を受けることも可能です。いつでも安心して相談できる病院として、今後ともよろしくお願いいたします。

*在宅療養支援病院とは、患者が住み慣れた地域で安心して療養生活を送れるよう、24時間医療・看護を提供できる病院のこと。



神経内科リハビリテーション
協立クリニック 所長

高岡 滋



地域医療の未来を守るために

近年、医療機関を取り巻く環境は厳しさを増しています。物価や人件費の高騰に対し、診療報酬は十分な水準に達しておらず、2024年度には全国の病院の約7割が赤字となりました。現在、地域の医療を支えてきた病院・診療所の多くが存続の危機に直面しています。

医療は、単なるサービスではなく、地域住民の暮らしを支える不可欠なインフラです。質の高い医療を維持するためには、診療・介護報酬の適正な引き上げとともに、防衛費の急増をやめさせ患者負担割合を減らしていく必要があります。私たちは、地域の皆様に安心して医療を受けていただくために、引き続き努力を重ねてまいります。

水俣協立病院と当クリニックは、建物の老朽化に伴い、現在リニューアル工事を進めています。これを機に、より質の高い医療を提供できる病院として、皆様の信頼に応えられるよう努めてまいります。また、医療の未来をより良くするために、社会全体でこの問題を考え、政治に声を届けることが重要です。

地域医療を守るためには、皆様のご理解とご支援が欠かせません。共に、持続可能な医療の実現に向けて歩んでいきましょう。

水俣協立グループリニューアル進捗のご報告

水俣協立病院 事務長 打上 里美

水俣協立グループは、多くの方々にご支援いただき新病院建設工事を進めております。心から感謝申し上げます。今号では、リニューアルの進捗と今後のスケジュールについてご報告致します。



1 工事の進捗

2025年1月の起式を経て、本格的な建設作業が始まりました。現在（6月中旬時点）、地下のコンクリートピットが完成し、2階部分のコンクリート打設が始まり工事は順調に進んでいます。建設現場には50メートルを超えるタワーが立ち、鉄筋などの材料を運ぶ様子を現病院の窓から見るができます。

一方で、建設現場に並行した三号線地下の下水管に、工事で使用したセメントが流入し下水管が詰まる、というトラブルが発生しました。遠方から専門業者を呼び、数ヶ月の時間を要して詰まりを解消することができましたが、その途中では定期的な下水の汲み取りを行う必要があったため異臭が発生するなど、近隣の皆さまに大変ご迷惑をお掛けしました。改めてお詫び申し上げます。

今後も建設会社との定期的な意見交換を行い、安全な工事の進行に努めてまいります。工事に関してお気付きの点がございましたら、いつでもお知らせください。

2 地域協同基金・寄付のご報告と更なるご支援のお願い

地域協同基金および寄付は2億円を目標にして取り組んでいます。

2025年6月末時点で地域協同基金66,555,000円、寄付18,690,911円の合計85,245,911円、目標2億円に対し42.6%となっています。

私たちは、地域の皆さまに最良の外来医療、在宅医療、入院医療を提供するために、リニューアル後の設備の充実、医療スタッフの育成に努めています。しかし、物価高騰などの影響を受け病院経営は大変厳しい状況にあります。水俣協立グループの存続には皆さまの温かいご支援が欠かせません。皆さまの地域協同基金や寄付は、一人でも多くの命を救う力となります。どうか、温かいご支援をお願いいたします。



最新の建設現場の様子



リニューアルスケジュール

2024年 9月25日	入札（梅林建設）	2026年 2月28日	新館完成予定
10月15日	建設予定地横、整形外科医院跡改修工事開始	3月	完成内覧会・祝賀会（3/21（土）） 旧館から新病院への引っ越し
11月29日	整形外科医院跡改修工事終了	4月1日	新病院・クリニック・ 在宅総合ケアセンター協立 運用開始
11月30日	総務、医局 整形外科医院跡2階へ引越	4月初旬頃～12月末	旧館解体工事開始
12月3日	総務、医局棟、 倉庫解体工事開始	2027年 1月初旬～2月末頃	外構工事開始
2025年 1月8日	起式	2027年 3月初旬	フルリニューアルオープン

次回は完成間近の状況をご報告する予定です。新春号でお会いしましょう。

「あなた」のために私たちができること

～現代の課題と協立グループ リニューアル～

水俣協立病院 副院長 光永 顕彰



今年4月より水俣協立病院副院長に就任いたしました、光永顕彰と申します。出身は八代市坂本町、実家は浄土真宗大谷派のお寺です。医師としては10年目、37歳になります。令和2年の水害を機に八代へ引っ越し、現在は妻と3人の子どもと5人で暮らしながら、水俣に通勤しています。

赴任してから7年が経ちましたが、日々の診療の中で、もはや従来の医療だけでは解決できないような、福祉・介護・社会的課題が複雑に絡み合ったご相談が増えています。言葉にするのは容易ではありませんが、それぞれのケースを丁寧に見ていくと、背景には共通する普遍的な課題が見えてきます。それは「社会からの孤立」「人生観」「死生観」といった根本的なテーマです。

たとえば、長年一人で暮らし、家族や地域社会とのつながりが希薄で、介護保険や行政の支援からも外れている方。認知機能の低下も重なり、生活能力が限界を迎えたところで病気に罹患。医療を受け病気自体は回復しても、その後の生活の基盤が見えない、という状況があります。

このような方に対峙したとき、私たち医療者は単に「病気を治す」という行為の限界を感じざるを得ません。根本の課題は「社会的孤立」であり、治療方針はその方の価値観＝「人生観」によって大きく左右され、最終的には「生きるとは何か」という「死生観」につながる深い問いへと至ります。

日本全体で加速している過疎化・人口減少・核家族化・少子高齢化・貧困化などの社会的変化が、こうした状況を生み出す背景になっており、今後もこの傾向は続くでしょう。つまり、医療者はもはや「ただ病気を治す者」ではなくなりました。ある時は病を癒す存在であり、ある時は患者さんの語りに耳を傾け共に悩む「隣人」や「友人」、ある時は死や生の意味に寄り添う「宗教者のような存在」であることが求められているのです。

もちろん、これらには決まった処方箋も明確なガイドラインもありません。だからこそ、患者さんを中心に家族や多職種が力を合わせ、悩みながら知恵を出し合い、最善だと思われる選択をとともに決めていくプロセスそのものが大切です。そして最終的には、その方が望む場所で、その方らしく、穏やかに過ごせる状態に至ることが、私たちの目指す医療のかたちです。

こうした考え方や価値観は、これまでも協立グループの活動の根底に流れていたものだと私は感じています。これらの想いと医療観を通して現代社会を見つめ直すとき、これからの時代に求められる医療・病院の姿が明確になってきます。

4月より赴任しました

水俣協立病院 医師

積 豪 英
せき たけひで

2025年4月に水俣協立病院に赴任いたしました。

20年ほど前に1年半ほどお世話になりました。その時のことを憶えてくれている患者さんが声をかけてくれますのでうれしい限りです。

水俣協立グループのリニューアルに伴い、厳しい医師体制が少しでも緩和できるようにお役に立てればと考えています。よろしくお願いいたします。



新任
紹介

私たちは議論を重ねたうえで、「病気を治す病院」から「患者さんを治し、支え、寄り添う病院」へと進化するという方針を打ち出しました。構想の概要は以下の3つです。

治す

高度急性期疾患以外の一般的な病気に対応する外来・入院治療を行い、働く方にも寄り添う夜間診療も継続。入院・在宅を問わず、栄養管理やリハビリを充実させ、身体面・精神面の回復を図ります。

支える

在宅部門を新設し、訪問診療・看護・ヘルパー・通所リハなどを通して地域生活を支援。社会的理由での入院やレスパイト入院の受け入れ、孤立や困難に対する相談にも対応します。

寄り添う

多職種やご家族と連携し、患者さん一人ひとりの価値観や生活背景を尊重したケアを提供。友の会活動など地域に根ざした取り組みも展開し、地域と共に歩む病院を目指します。

リニューアルに伴い「何が変わるのか?」と問われることも多いですが、本質的には「これまでの魂はそのままに、時代に合わせて柔軟に適応していく」という姿勢がより近い表現だと思っています。

最後に、今回の文章では私自身の紹介と、日々感じている医療の課題、そしてリニューアルに込めた想いについて綴らせていただきました。地域の皆さまの声に真摯に耳を傾けながら、より愛され、そして“あなた”に最後まで寄り添える病院であるために、今後も成長を重ねてまいります。

これまで協立病院を築き支えてこられた先輩方の想い、水俣病など時代ごとに地域が抱えてきた苦悩や生きづらさに思いを馳せ、これからも精一杯、患者さんや地域の皆さまと真摯に向き合い、「この地域に協立グループがあってよかった」と感じていただけるよう、努力を続けてまいります。今後とも温かいご支援、ご助言を賜りますようお願い申し上げます。



完成イメージ図

4月より赴任しました

水俣協立病院 医師

伊井 誠

いい

まこと

くわみず病院から赴任してきました医師になって6年目の伊井です。みなさまの健康を支えるパートナーとして、笑顔で丁寧な診療を心がけてまいります。お困りの際は、どうぞお気軽にご相談ください。どうぞよろしくお願いいたします。



新任
紹介

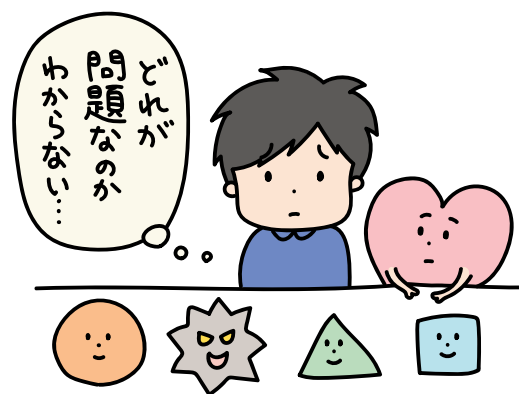
もしかして、発達障害？

神経内科リハビリテーション協立クリニック

外来看護師長 小森田 百合子

当クリニックには、日頃から「日常生活で困りごとが増えた」「職場や学校でのコミュニケーションに悩んでいる」「家族のことで相談したい」—— など、発達障害に関するご相談や受診が増えています。発達障害の可能性がある場合には、医師が専門的に診断・評価を行い、適切な治療やサポートをご提案しております。患者さん一人ひとりの状況や思いに寄り添い、丁寧な診療を心がけております。

発達障害の方は、注意欠陥多動症（ADHD）、自閉スペクトラム症（ASD）など、多様な特性を持っておられます。適切な診断で、ご本人の発達の特性についてご家族や職場の皆さんに理解いただくことで、ご本人の生活の質（QOL）を向上させることが可能です。また、水俣・芦北圏域では臨床心理士（公認心理師）が常駐している唯一のクリニックです。不安やストレスなど、こころの不調を一人で抱え込まずに済むように必要に応じてご本人のペースに合わせた安心して話せる関係づくりに取り組んでいます。



また、内科や神経疾患などの診療も行っておりますので、「こころと身体」の健康を医師・看護師・臨床心理士（公認心理師）が連携し、総合的にサポートすることができます。

「ちょっと気になる」「話だけでも聞いてみたい」といった場合も、お気軽にご相談ください。

あなたの毎日が、より穏やかで快適なものになりますように願っております。

神経内科リハビリテーション協立クリニック

電話番号(代表) **(0966) 63-6835**

はじめての方は電話予約をお願いします。

「みなまた健康友の会総会」を開催しました | みなまた健康友の会 ☎ 0966-63-3887



みなまた健康友の会 事務局長 永田 明美



6月1日(日)、湯の児の「海と夕やけ」にて2024年度みなまた健康友の会総会を開催し、48名が参加しました。光永副院長より、リニューアルに向けた医療構想について報告があり、今後も安心して通院できることを感じられたようでした。

講演では、熊本みみの会の活動の「補聴器購入に公的補助を求める運動」について、くまもと健康友の会事務局長の井上晋さんより報告いただきました。補聴器購入は高齢者にとって身近な問題であり、関心も高く、多くの質問が寄せられました。この講演を通じて、水俣においても補聴器購入の公的補助の必要性を改めて認識し、大変有意義な学びの場となりました。

新会長に中山徹さんが就任、新たな運営委員体制のもと、さら

なる活動に取り組んでいきます。

恒例のビンゴ大会では、商品券やスイカなどの豪華景品を用意し、大変盛り上がりしました。

今年度も「誰もが安心して住み続けられるまちづくり」を目指し、さまざまな活動を通じて地域の皆さまと共に歩む友の会となるよう努めてまいります。



「在宅訪問管理栄養士」が誕生しました！

栄養科の橋迫仁奈管理栄養士が、「在宅訪問管理栄養士」の認定資格に挑戦し、見事合格しました。

この認定資格は、患者さんが在宅で安心・快適に暮らし続けられるよう支援し、生活の質(QOL)の向上をめざした食と栄養の専門的な支援を行う管理栄養士に与えられるものです。また、患者さんやそのご家族・介護者が悔いのない療養生活を送れ

るよう、寄り添いながら食生活を支える存在でもあります。

これからの活躍を期待しています。



よろしくお願いします

病棟師長

棚橋 純子

たなはし じゅんこ



この度水俣協立病院の病棟看護師長に着任いたしました棚橋と申します。着任にあたり身の引き締まる思いです。未熟な点も多々あるかと思いますがスタッフと共に協力し、患者様、ご家族に寄り添った看護を大切に誠心誠意努めてまいりますので、よろしくお願いします。

医事課 係長

後藤 史郎

ごとう しろう



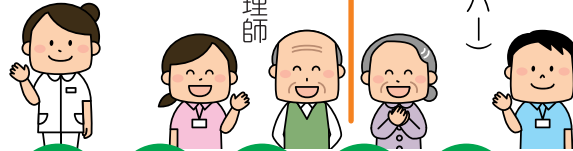
4月より水俣協立病院の医事課に配属になりました。病院のリニューアルを目前にして慌ただしくもありますが、丁寧な対応を心掛けていきたい所存です。右も左も(どころか上も下も)判らない若輩者ですが、精一杯頑張りたいと存じます。よろしくお願いいたします。

新入職員紹介

- 水俣協立病院
リハ科▼岩阪 直諒（作業療法士）
病棟▼前田 里香（看護師）
病棟▼林 妙子（看護助手）
栄養科▼篠原 一久（調理士）
●ケアセンター協立
訪問介護▼肥前 一枝（登録ヘルパー）

求人のご案内

- 水俣協立病院【正職員】
◆医師 ◆看護師 ◆薬剤師
◆精神保健福祉士 ◆栄養士 ◆調理師
 - 水俣協立病院【契約職員】
◆看護師 ◆准看護師 ◆看護助手
◆栄養士 ◆調理師
 - ケアセンター協立【正職員】
◆看護師 ◆ケアマネージャー
 - ケアセンター協立【契約職員】
◆看護師 ◆ヘルパー
 - ◆登録ヘルパー
 - 協立クリニック・通所リハビリ【契約職員】
◆准看護師 ◆介護福祉士 ◆介護助手
- ※契約職員は短時間の勤務も可能です。



入院に関する ご相談窓口

＜地域医療連携室＞

担当：淵上・多比良

電話 0966-62-3418

Fax 0966-62-3419

お気軽にご相談ください。



無料送迎も
あります

送迎をご希望の方は
外来にご相談ください。

外来診療のご案内

協立病院

時間	曜日	月	火	水	木	金	土
午前	前	○	○	○	○	○	○
午後	後	○	○	△	○	○	△
訪問診療		○	○	△	○	○	△
夜間診療		○	△	△	△	○	△

午前▶ 8:30～11:30

午後▶ 13:30～16:30（月・火・木・金）

夜間▶ 16:30～18:30（月・金）

受付時間

協立クリニック

時間	曜日	月	火	水	木	金	土
午前	前	○	○	○	○	○	○
午後	後	○	○	△	○	○	△
夜間診療		○	△	△	△	△	△
通所リハビリ		○	○	○	○	○	△

午前▶ 8:30～11:30

午後▶ 13:30～16:30（月・火・木・金）

夜間▶ 16:30～17:30（月）

通所リハビリ▶ 祝日も行っております。

受付時間

水俣
協立病院



協立
クリニック



ホームページのご紹介

編集後記

「ケアの倫理」という言葉を「ご存じでしょうか。私たちは今、「ケア」について学んでいます。医療機関では一般的に、ケアする人Ⅱ職員、ケアされる人Ⅱ患者という関係があります。しかし、先日、数日間ではありましたが、入院患者さんの配膳・下膳のお手伝いをする機会がありました。食事をお持ちすると、皆さんが笑顔で「ありがと」と受け取ってください、その笑顔と感謝の言葉に、私自身が大変癒されました。私はこのとき、患者さんから「ケアされた」のだと感じました。

どんな人でも、笑顔や優しさに触れることで、互いに癒され、ケアされているのではないのでしょうか。患者、職員、家族の間でも、お互いにケアし合いながら「癒し」を積み重ねていきたいですね。

（S）

